ダムっ湖

2017年夏号
編集・発行
国土交通省
北陸地方整備局
三国川ダム管理所

平成29年
(2017)
7月

－ 特集 －
三国川ダムドラゴン伝説

記者は見た
でっかい昇り龍が現れた!?

三国川ダムでは、例年4月下旬から5月上旬のゴールデンウィークの頃に自然越流が起こります。これは、山に積もった雪が、春を迎えるとともにとけて、ダムに多くの水が流れ込むことでダムから水が溢れます。ダムから越流するのは、この時期特有のものでダムマニアの間では、春の風物詩とされています。その越流シーンは、迫力満点の「ゴオォォー」というような音を上げ、大量の水が勢いよく巨大な滑り台をかけ降りていきます。まさにダムという巨大構造物の凄さを我々に教えてくれます。毎日ダムに通勤している我々職員でさえ、越流の時期になるとソワソワと胸が騒ぎ、写真や動画を撮影していしまうほどその凄さに圧倒されます。

ところで、その越流の最中、ダムに「巨大な昇り龍」が現れることは、皆さんはご存じでしょうか？下記の写真のように、越流する水が「うろこ状」に見えることがごくまれにあります。これは、越流する水の量が少なくなると、水が波を打つように流れるため起こる現象です。ダムの巨大放水路からうろこ状に水が流れると、巨大な昇り龍が現れたように感じられます。ぜひ、皆さんにも「三国川の巨大な昇り龍」を見てもらいたいものですが、自然発生する珍しい現象なのでいつ出現するかは分かりません。出会うことができたらラッキー！という気持ちでいただければ幸いです。

越流状況の写真
(平成29年5月9日撮影)

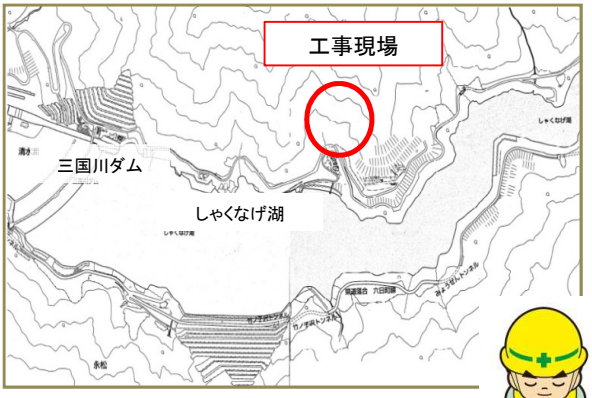
CONSTRUCTION INFORMATION

工事情報

工事名
平成28年度三国川ダム切山沢法面対策その2工事

工期
平成29年4月27日～
10月25日

工事内容
平成23年の新潟・福島豪雨により崩れた斜面を固定させ、今後の大雨でも崩れないようにする工事です。
平成24年より応急対策として、崩れた斜面のモルタル吹付を施工。平成28年度より恒久的な復旧対策を実施しています。



ダムより上流約1km
通行の際は、ご注意願います。

ダムの中を探検しませんか！
地下100mで夏に「冬」を体験

三国川ダムは、「情報館」と「監査廊」を一般開放し、案内しています。情報館は、ダムの仕組みや役割について詳しく説明したパネルがあります。また、パソコンでダム管理のシュミレーションができます。

監査廊とは、ダム堤体内の点検用地下トンネルのことで、エレベーターを使って天端（ダム上部）から約１００m降り、監査廊と放流水路のゲート室をご覧いただけます。

ダム監査廊

ダム情報館

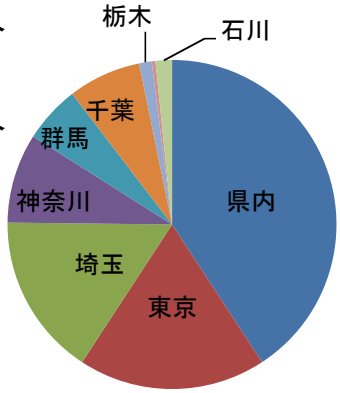
今年のゴールデンウィーク中（4月29日～5月7日）には、約２４００人の方が情報館を、約２５０人の方が監査廊を見学されました。

外は猛暑でも、監査廊の中はとても涼しく、年間通して約１０℃と一定の温度です。見学された方は、ひんやりして気持ち良い、普段見ることができない場所なので見学できて楽しかったと感想を頂いています。自然のクーラーを体験してみませんか？

監査廊見学者の内訳

期間　4月29日から5月7日
対象人数　250人

県内：１０２人
東京：４６人
埼玉：４０人
神奈川：２２人



見学者は、県内の方が約4割を占めていますが、関東圏からも多くの方がお越しになっていました。他にも愛知県や三重県からお越しの方もいました。最近は、連日団体バスツアーで、県外から多くの方がダムに訪れています。

季節を振り返って

季節は桜の季節から、新緑に変わり、あっという間に夏になりました。移り変わる季節の中で、たくさんの生物たちと出会いました。春には、特別天然記念物に指定されているカモシカと出会いました。また日本猿も、ダムの周辺にたくさん現れます。野生の動物を見にダムに来るものいいかもしれませんね。

筆者の紹介

私は今年の４月からダム案内を担当をしています。まだ初めたばかりで拙い案内ですがお越しのみなさまに、多くのあたたかいお言葉をいただき、とても励みになっています。心を込めてダムを案内しますので、どうぞこれからもよろしくお願いします。

PHOTO CORNER

日本猿　ダム天端　（5月27日撮影）

カモシカ　ダム法面　（4月14日撮影）

ツツジ　ダム記念公園　（5月22日撮影）